

豊かな自然、歴史、文化のふるさと

「ひがししらかわ」で

“地域医療体験”と“地域の皆様との交流”を



研修日：平成26年3月12日（水）～13日（木）

福島県 県南保健福祉事務所

福島県の地域医療の現状がどのようなものであるか、自分の目で見て知りたい。

将来、自分がその担い手になるために、意識を高く保つためにも、その現場の様子を見学して

何か一つでも自分の糧となるような経験をしたい。

(参加者事前アンケートより)





目次

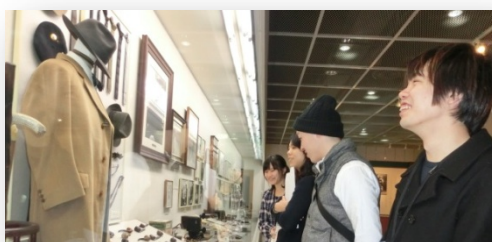
- 「ひがししらかわ」について
 - 研修スケジュール
-

【第1日 3月12日（水）】



- 県南保健福祉事務所
- 特別養護老人ホーム ユーアイホーム
- 軽費老人ホーム ケアハウスせせらぎ荘
- 福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院
- 医療従事者との懇談会

【第2日 3月13日（木）】



- 吉田富三記念館
 - 福島県厚生農業組合連合会 白河厚生総合病院
 - 臨床研修医との懇談会
-

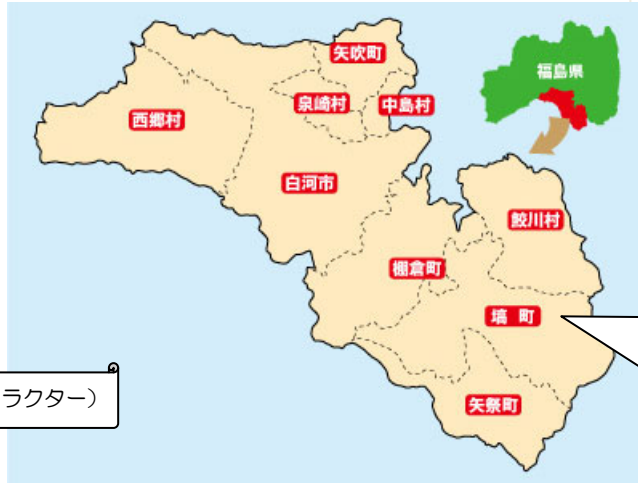
- 県南地区研修マップ
- 研修参加者の声
- 地方新聞記事
- 実施要領



「ひがししらかわ」について



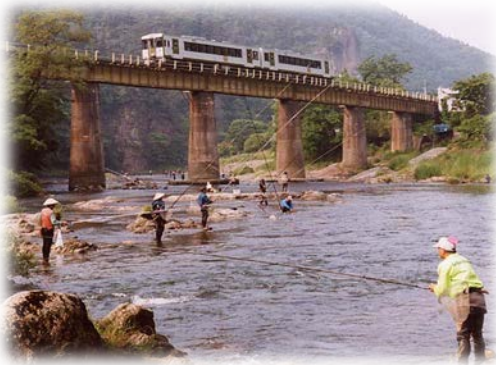
みなもん（源流の里づくりシンボルキャラクター）



☆「ひがししらかわ」
棚倉町、矢祭町、塙町、
鮫川村の東白川郡の
4町村の総称です。

やまつりまち 矢祭町

●「合併しない宣言」で全国的に話題になりました。春には矢祭山のつつじが咲き誇り、久慈川での鮎釣りも楽しめます。県の最南端で、雪の少ない温暖な地域です。



はなわまち 塙町

●町の総面積の8割を山林が占める豊かな緑の町です。町の中心を久慈川が縦断し、四季折々に美しい渓谷が楽しめます。また、8月から10月にかけてダリア園が開園します。



（県南地方振興局HPより転載使用）

地域医療体験研修（冬期）スケジュール

月 日	内 容	場 所、行 程	地 域 名
平成26年 3月12日 (水)	JR 福島駅出発→福島県立医科大学経由		
	オリエンテーション	県南保健福祉事務所	白河市
	介助体験	特別養護老人ホーム ユーアイホーム 軽費老人ホーム ケアハウスせせらぎ荘	矢祭町
	昼食（検食）		
	交流会（健康相談会）		
	視察	福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院	塙町
	医療従事者との懇談会	東館温泉 ユーパル矢祭	矢祭町
	宿泊		
3月13日 (木)	見学	吉田富三記念館	浅川町
	視察	福島県厚生農業組合連合会 白河厚生総合病院	白河市
	臨床研修医との懇談会		
	意見交換会		
	福島県立医科大学経由→JR 福島駅到着		

☆研修中は貸切バスで移動しました。



県南保健福祉事務所



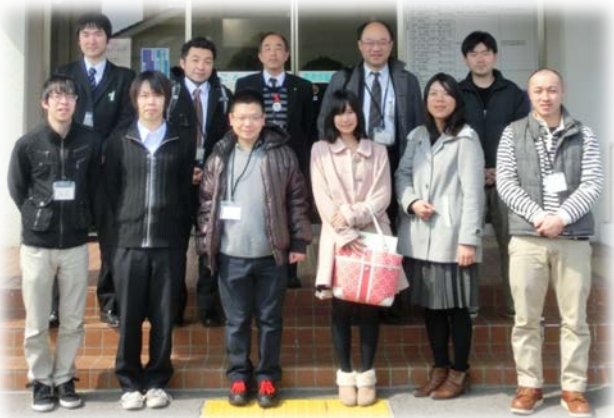
☆オリエンテーション☆

研修スケジュールの確認や県南地域の概要について説明を受け、各自己紹介や事務所内の見学を行いました。



大谷晃司

福医大医療人育成・支援センター
副部門長兼准教授



☆この研修に参加するまでは、地域医療に関して「負」のイメージを持っていました。しかしながら、地域医療とはそれぞれの地域のニーズに合わせた医療を提供することだと認識しました。

(福島県立医科大学医学部4年生)

☆今回の経験は福島県の東白川地域についてよく知るだけでなく、地域医療を考える際の視野が何倍にも広がったように感じます。

(福島県立医科大学医学部4年生)



3月12日(水)

住所：〒961-0074 白河市郭内 127

代表者名：所長 加藤清司

TEL：0248-22-5441 (代表)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21130a/>

特別養護老人ホーム
ユーアイホーム



本日の献立

御飯
鶏の辛味噌焼き
じゃが芋のどぼろ煮
かぶの梅肉和え
牛乳

エネルギー	599kcal
蛋白質	25.5g
脂質	16.7g
炭水化物	84g
塩分	2.3g



☆懇談・介助体験☆
施設の概要や入居待機者の現状等の説明を受け、施設職員に説明を受けながら入所者の食事介助や入浴介助の体験を行いました。また、老人食の検食を行いました。



☆看取りなど含め、いろいろな話を聞くことができました。また、特別養護老人ホームがどのようなところか、より実感をもって理解することができました。

(福島県立医科大学医学部4年生)

☆初めての経験だった。食事もどのような量で、どのような工夫をしているのか知ることができました。

(福島県立医科大学医学部4年生)



高信由美子 理事長



金澤健至 施設長

3月12日(水)

住所：〒963-5118

東白川郡矢祭町大字東館字蔵屋敷 122

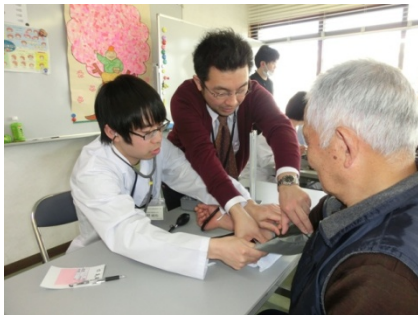
代表者名：社会福祉法人矢祭福祉会 施設長 金澤健至

TEL：0247-46-3385

<http://www.yu-ai.org/info/>



軽費老人ホーム
ケアハウスせせらぎ荘



☆交流会（健康相談会）☆ 施設入所者の血圧測定や懇談を行い、交流を行いました。
また、西條聡先生の「目眩い」についての健康講座を聴講しました。



☆個人と話す時間が短かったので、なかなか実情を聞いたりするまでの時間が足りなかったが、OSCEの復習のようで、地域の皆さんとふれあう機会が持てたので良かった。

（福島県立医科大学医学部4年生）



3月12日（水）

住所：〒963-5118

東白川郡矢祭町大字東館字蔵屋敷 122

代表者名：社会福祉法人矢祭福祉会 施設長 金澤健至

TEL：0247-46-3385

<http://www.yu-ai.org/info/>

塙厚生病院



☆懇談・視察☆

病院長より、東白川地域の医療の現状について説明を受け、医療スタッフの誘導で病院内の視察を行いました。

☆病院全体を見学することができ、東白川地域の現況を知ることができました。

(福島県立医科大学医学部4年生)

☆見学しながら、病院長をはじめ院内で実際に働いている方の生の話を聞くことができたので、大変有意義でした。

(福島県立医科大学医学部4年生)



佐川恵一 病院長

3月12日(水)

住所：〒963-5493 東白川郡塙町大字塙字大町 1-5

代表者名：病院長 佐川恵一

TEL：0247-43-1145

<http://www.hanawa-fkousei.jp>

診療科目：内科・消化器科・循環器科・神経内科・小児科・精神科

・心療内科・神経科・外科・肛門科・整形外科・脳神経外科

・リウマチ科・アレルギー科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科

・皮膚科・泌尿器科・放射線科・リハビリテーション科



医療従事者との懇談会



松田希

福医大医療人育成
・支援センター助教



佐川恵一

塙厚生病院長



加藤清司

県南保健福祉事務所長



菅野晶夫

塙厚生病院 副病院長



☆座長☆

大谷晃司

福医大医療人育成
・支援センター副部門長

地域医療に従事する医師と医学生が「地域医療」をテーマに課題や問題点について、討論を繰り広げました。



西條聡

福医大医療人育成
・支援センター助手



☆様々な意見を交換することで、より東白川郡の地域における医療について理解を深めることができました。

(福島県立医科大学医学部4年生)

☆多くの先生や先輩の様々な意見を聞き、直接、対話することができ、さらに視野を広げることができました。

(福島県立医科大学医学部4年生)



3月12日(水)

場所：矢祭町 東館温泉 ユーパル矢祭 会議室

講演：「地域医療の現状について」

塙厚生病院 病院長 佐川恵一

自由討論：①地域医療に従事する医師の実状

②地域医療の課題・問題点

③地域医療の確保に向けての提案

とみぞう
吉田富三記念館

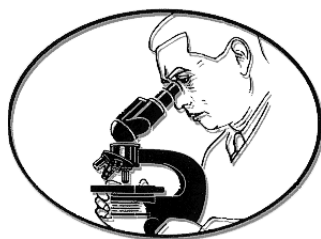


☆館長講話・館内見学☆

「がん研究」の先導者吉田富三博士の功績、研究室の再現や、博士のプライベートライフ等の説明を受けました。



内田宗寿 館長



☆昔の顕微鏡等、吉田博士が使用したものを多く見れたこと、館内の所々にあった吉田博士の言葉は、見ていて考えさせられるものがありました。

(福島県立医科大学医学部4年生)

3月13日(木)

住所：〒963-7788

石川郡浅川町大字袖山字森下 287

代表者名：名誉館長 内田宗寿

TEL：0247-36-4129

<http://www.tomizo.or.jp>



福島県厚生農業組合連合会
白河厚生総合病院



☆視察☆

施設の概要説明を受けた後、病院内のPET 画像診断センターやリハビリテーションセンター等、高度な医療設備の視察を行いました。



☆設備、眺め、院内の様子、とても綺麗で整っていて素晴らしかった。また、医療機関の協力体制を図り、地域医療の根底を支えていることが認識できました。リハビリ設備や小児病棟が充実していて、素晴らしい拠点病院施設でした。

(福島県立医科大学医学部4年生)



3月13日(木)

住所：〒961-0005 白河市豊地上弥次郎2-1

代表者名：病院長 前原和平

TEL：0248-22-2211

<http://www.shirakawa-kosei.jp/>

臨床研修医との懇談会



佐久間正樹
白河厚生総合病院
事務長



高木玄教
臨床研修医



前原和平
病院長



赤間浄
臨床研修医

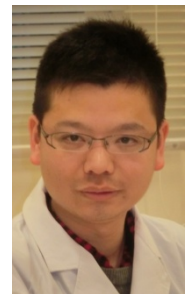


加藤正和
福島県 県南保健福祉事務所
副所長

県南地域の中核病院で初期研修を受ける二人の研修医と懇談し、地域医療に従事する目標等をお聞きました。



☆座長☆大谷晃司



福医大医療人育成・支援センター副部門長



☆実際に働いている臨床研修医の方々に、その勤務体制について話をしてもらい、どのような研修があり、どのような利点があるのか、聞くことができたことが、大変参考となりました。

(福島県立医科大学医学部4年生)

日時：3月13日(木)

場所：白河市 白河厚生総合病院 2F 大会議室

挨拶：白河厚生総合病院 病院長 前原和平

県南保健福祉事務所 副所長 加藤正和





福島県 県南地区
地域医療体験研修（冬期）マップ



白河厚生総合病院



県南保健福祉事務所



吉田富三記念館（浅川町）



塙厚生病院



特別養護老人ホームユーアイホーム 軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘



東館温泉 ユーパル矢祭



地域医療体験研修参加者の声

☆平成25年度冬期研修☆ 福島県立医科大学医学部4年生



今回の研修では、東白川地域の特別養護老人ホーム、地域中核病院の見学を行いました。実際に地域医療について多くの問題があげられている中で、その見学を行うことは大学の講義で学ぶことが出来ない知識として、今後に役立つことであったと実感しました。特に、実際にその地域で働いている方の話を聞くことができたのは、このような研修の機会しかないと思うので、とても有意義なものであったと感じています。また、様々な問題が提示されている地域医療ですが、実際に見学してみると、今までのイメージは少々異なっていました。地域における医療・介護の連携が様々な職種の相互作用により、少しでもその問題を解決しよう前向きに取り組んでいることが実感でき、働いている方、一人一人が責任を持って、明るく取り組んでいる姿が印象的でした。確かに未だ解決すべき問題点も多く、医療資源も不足していることは現実問題としてあると思いますが、今回の研修では、良い方向へ地域医療が向かうべき一つのモデルとして見学できたように思います。私がこのような視点から地域医療について理解できたのも、この研修に参加したからこそであると思います。

☆平成25年度冬期研修☆ 福島県立医科大学医学部4年生



私は4年前に福島県に来ましたが、未だこの県南地域には行った事がなかったため、「このままではもったいない」との思いから県南地域を知りたくて、この研修に参加しました。まず、感じたのは、同じ中通りとはいえ「福島県は広いな」と言うことでした。会津地域の様に山が多いという感じではなく平野も広がっていたのですが、家はとても少ないと感じました。地域の方に実際にお話を伺うと、やはり病院まで遠いというのが悩みの種であるようでした。そのうえ、路線バスは通学と通院にしか使われないこともあり、バスの本数が減らされて、高齢者も多いのにもかかわらず、悪循環で困ったことだと思いました。それでも、病院側にそのことに対する問題意識があり、病院専用のバスを運行するなどの対策が行われている点等、さすが福島県の「自分達がなんとかしないと精神」は凄いなと思いました。県南地域は県北にある福島県立医科大学附属病院まで遠いということで、県北にあるような同規模の病院とは違う病院連携や医師の方々の覚悟も聞くことができました。一泊二日という短い体験研修でしたが、県南地域の様々な所へ行き、有意義な時間となりました。今回、気になった病院には、今後、自分でも見学に行きたいと考えています。

地域医療を 現場で体験

東白川訪れ福医大生ら

県南保健福祉事務所の地域医療体験研修が12、13の両日、東白川郡内の病院などで行われ、医学生たちが病院を視察するなどして地域医療の現状に理解を深めた。



血圧を測定し、地域住民と交流する学生たち

民と交流する場を提供し、とうと毎年実施している。福島医大の学生ら約10人が参加した。

このうち初日は、学生たちが塙厚生病院（塙町）を訪問したり、医療従事者と交流した。軽費老人ホーム・ケアハウスせせらぎ荘（矢祭町）では血圧を測定し、地域住民と触れ合った。

福島民友新聞 県南版（平成26年3月17日付）

地域医療の現状学ぶ

福島医大生ら3市町で研修

県南保健福祉事務所 矢祭で地域医療に所々の地域医療体験研修 従事する地元の医師と白河市と矢祭、塙町で行われた。医学生が現状に理解を深めた。

福島医大などの医学部学生六人が参加した。矢祭町の特別養護老人ホーム「ユアイホーム」と軽費老人ホーム「ケアハウスせせらぎ荘」を訪問した。入所者の食事介護や血圧測定などを行い、交流した。

塙町の塙厚生病院を視察し、矢祭町のユア



ケアハウスせせらぎ荘で血圧測定を体験する学生(左)

切り開き文化勲章を受けた浅川町出身の吉田富三博士をたえる同町の記念館も訪れた。

福島民報 県南版（平成26年3月14日付）

和28年2月16日=夕刊たなぐら新聞社=日刊。月1500円【第3種郵便物認可】第17920号=

医学者が地域医療体験

塙厚生病院谷と訪問し、現状視察

現場の声から実情学ぶ



医学部学生を対象とした「平成二十五年度地域医療体験研修（冬季）」が十二、十三の二日間を日程に実施された。

県と県南保健福祉事務所が、地域医療の現状視察や地域住民との交流を通して、東白川地域における地域医療

現場の現状について理解を深めてもらうことを目的に年二回開いている。今回は県立医科大学医学部と山梨大学医学部の学生六人が参加した。

初日は白河市の県南保健福祉事務所所でオリエンテーション後、矢祭町の特別養護老人ホーム「ユアイホーム」と軽費老人ホーム「ケアハウスせせらぎ荘」、塙町の塙厚生病院などを訪問した。

このうち、塙厚生病院には午後四時ごろ来院し、院内施設を見学したあと、佐川恵一院長

長による「地域医療の現状について」と題した講話を聴講。少子高齢化の進行や人口減少の顕著化、郡内医療機関の減少及び医師不足等、東白川郡が抱える医療の問題を把握した。

きょう十三日は、午前中に棚倉町の浅川町の吉田富三記念館を訪問。午後は白河厚生総合病院で臨床研修医との懇談会などを実施した。

参加した学生は、医療従事者の体験談や生の声を聞き、地域医療の実情に理解を深めていた。

夕刊たなぐら新聞（平成26年3月13日付）

1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、東白川地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日

平成26年3月12日（水）～13日（木）〔1泊2日〕

3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生

4 募集定員

5名以内

5 研修内容

（1）地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察する。

（2）地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

（3）地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深める。

6 宿泊場所

東白川郡内宿泊施設等 ※宿泊費は県負担

7 集合・解散場所

JR 福島駅、福島県立医科大学、JR 新白河駅 ※借上バスで移動

8 申込み方法

（1）当所ホームページの地域医療体験研修参加申込フォームより申込

（2）FAX または電子メールにより下記あて申込書を送付（電話でも可）

※定員になり次第締め切ります。

9 問い合わせ・申込先

福島県県南保健福祉事務所 総務企画部 総務企画課

電話 0248-22-5447 FAX 0248-22-5451

E-mail kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp

福島県県南保健福祉事務所ホームページ

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11008



☆地域施設での介助体験に・・・不安と緊張感が高まる☆
矢祭町 ユーアイホームにて

研修参加者（平成22～25年度まで）

福島県南保健福祉事務所

大学名	参加者数	学年（参加時）						性別	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男性	女性
福島県立医科大学	31	4	2	1	20	4		19	12
獨協医科大学	8	1	3	1	3			4	4
帝京大学	3		2	1				3	
山形大学	2	2						1	1
秋田大学	2	2						2	
東北大学	1	1						1	
北里大学	1			1					1
東京大学	1						1	1	
群馬大学	1		1					1	
鳥取大学	1				1			1	
山梨大学	1			1				1	
(人)	52	10	8	5	24	4	1	34	18

出身都県	福島	栃木	埼玉	東京	山形	茨城	神奈川	大阪	群馬	千葉	和歌山	鳥取	島根
	23	6	5	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1

地域医療とは地域密着であり、患者さんは近所であり、知り合いであることも多い。

地域住民たちとの関係を密にしながら働く医師は、とても充実している印象を受けた。

以前の私は、避地医療に赴くなど考えることもなかった……。

今では地域医療のために避地に行くのも良いのではないかと思えるようになった。

私自身の考え方の変化が、この研修の中で最も驚きであった……。

(参加者事後アンケートより)



医師・医学生の皆さまへ



東日本大震災の発災から2年が経過しましたが、今なお、地震、津波、原子力発電所の事故、それに伴う風評被害は本県に甚大な影響を及ぼしております。

国内外からの温かい御支援をいただきながら、「ふくしまからはじめよう。」を合言葉に、県民、県、市町村、関係団体などが一丸となり、美しいふるさとを取り戻し、活力と笑顔があふれる福島県を築くため、全力で取り組んでいます。

医療の分野では、医療提供体制の復興を成し遂げ、より安全で質が高く、より効率的な医療の提供を目指すため、新たに第六次福島県医療計画を策定するとともに、本県の医療を担う医療従事者の県内定着や県外からの招へい、医療施設の機能の強化など、様々な施策を進めております。

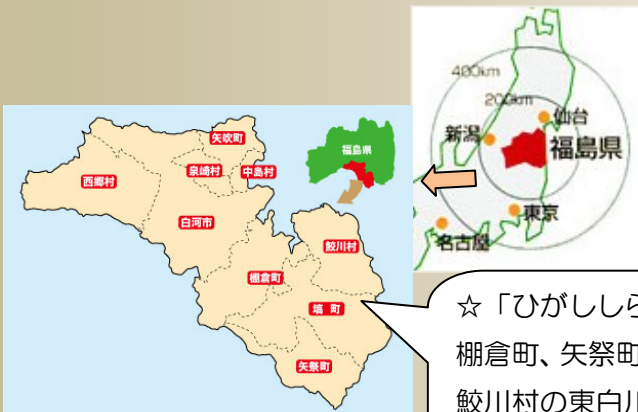
これらの取組を実効あるものとし、県民、とりわけ本県の未来を担う子どもたちが安心して伸び伸びと暮らすことができるふくしまを実現するため、是非とも皆様のお力添えをお願いいたします。

福島県知事 佐藤 雄平

福島県 地域医療体験研修

検索

Click

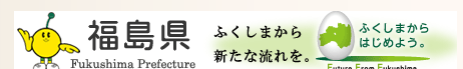


☆「ひがししらかわ」
棚倉町、矢祭町、塙町、
鮫川村の東白川郡の
4町村の総称です。

平成25年度

地域医療体験研修（冬期）事業実績写真集

平成26年3月31日 発行



福島県 県南保健福祉事務所

総務企画部 総務企画課

電話番号 0248-22-5447

FAX 0248-22-5451

YouTube



facebook



<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21130a/>